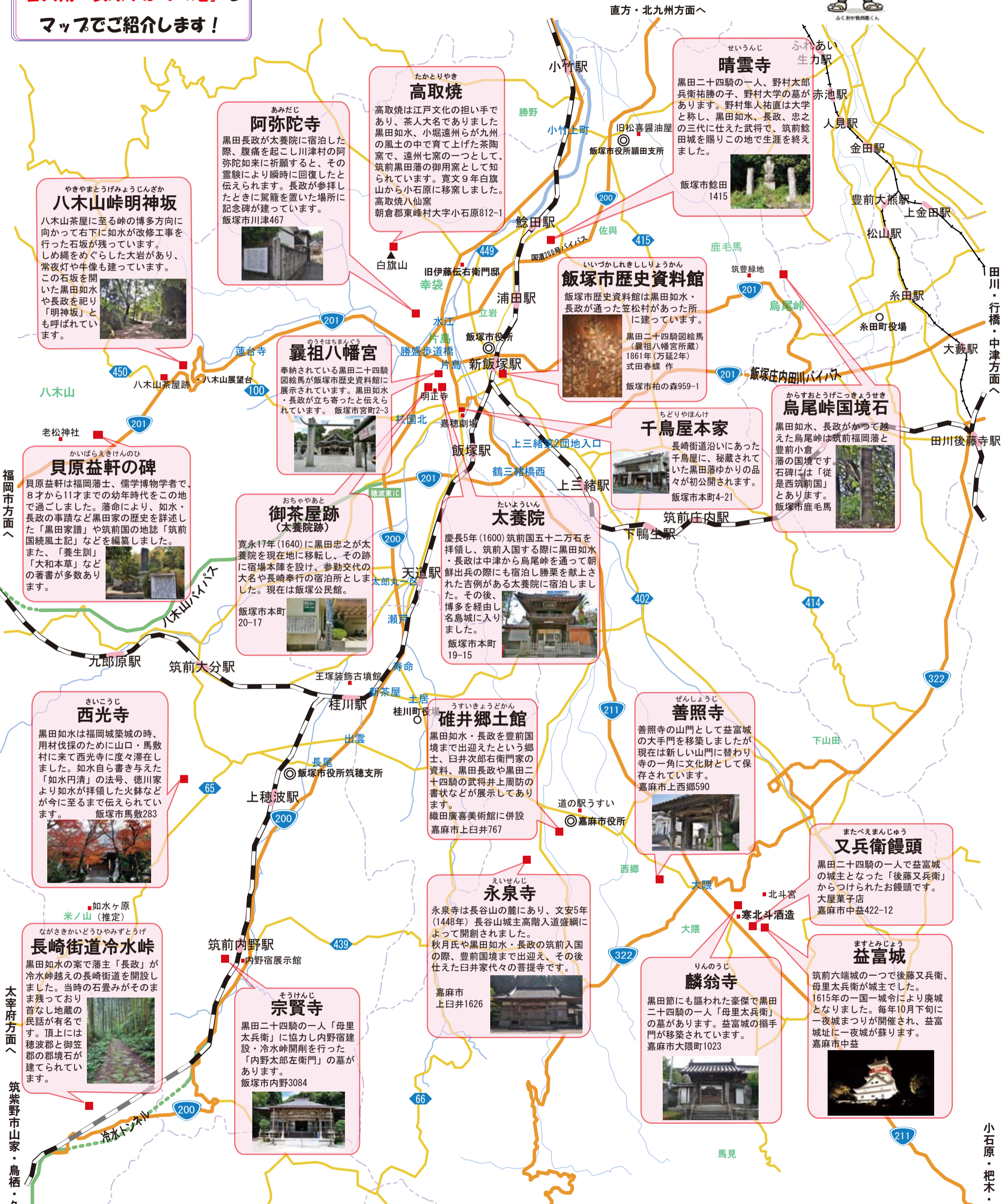


黒田官兵衛(如水)・長政 ゆかりの地マップ



2014年 NHK 大河ドラマ
「軍師官兵衛」 放映決定!
飯塚市周辺の
「官兵衛・長政ゆかりの地」を
マップでご紹介します!



あみだじ 阿弥陀寺
黒田長政が太養院に宿泊した際、腹痛を起こし川津村の阿弥陀如来に祈願すると、その霊験により瞬時に回復したと伝えられます。長政が参拝したときに駕籠を置いた場所に記念碑が建てられています。
飯塚市川津467

たかとりやき 高取焼
高取焼は江戸文化の担い手であり、茶人大名でありました黒田如水、小堀遠州らが九州の風土の中で育て上げた茶陶窯で、遠州七窯の一つとして、筑前黒田藩の御用窯として知られています。寛文9年白旗山から小石原に移窯しました。高取焼八仙窯 朝倉郡東峰村大字小石原812-1

せいうんじ 晴雲寺
黒田二十四騎の一人、野村太郎兵衛祐勝の子、野村大学が墓があります。野村隼人祐直は大学と称し、黒田如水、長政、忠之の三代に仕えた武將で、筑前黒田城を賜りこの地で生涯を終えました。
飯塚市鉢田 1415

やきやまとうげみょうじんざか 八木山峠明神坂
八木山茶屋に至る峠の博多方向に向かって右下に如水が改修工事を行った石坂が残っています。しめ縄をめぐらした大岩があり、常夜灯や牛像も建てられています。この石坂を開いた黒田如水や長政を祀り「明神坂」とも呼ばれています。

のうそはちまんぐう 曩祖八幡宮
奉納されている黒田二十四騎図絵馬が飯塚市歴史資料館に展示されています。黒田如水・長政が立ち寄ったと伝えられています。飯塚市宮町2-3

いづかしれきしりょうかん 飯塚市歴史資料館
飯塚市歴史資料館は黒田如水・長政が通った笠松村があった所に建てられています。黒田二十四騎図絵馬(曩祖八幡宮所蔵) 1861年(万延2年) 式目春蝶作 飯塚市柏の森959-1

からすおとうげこつきょうせき 烏尾峠国境石
黒田如水、長政がかつて越えた烏尾峠は筑前福岡藩と豊前小倉藩の国境です。石碑には「従是西筑前国」とあります。飯塚市鹿毛馬

かいばらえきけんのひ 貝原益軒の碑
貝原益軒は福岡藩士、儒学博物学者で、8才から11才までの幼年時代をこの地で過ごしました。藩命により、如水・長政の事蹟など黒田家の歴史を詳述した「黒田家譜」や筑前国の地誌「筑前国統風土記」などを編纂しました。また、「養生訓」「大和本草」などの著書が多数あります。

おちややあと 御茶屋跡(太養院跡)
寛永17年(1640)に黒田忠之が太養院を現在地に移転し、その跡に宿場本陣を設け、参勤交代の大名や長崎奉行の宿泊所となりました。現在は飯塚公民館。
飯塚市本町 20-17

たいよういん 太養院
慶長5年(1600)筑前国五十二万石を拝領し、筑前入国する際に黒田如水・長政は中津から烏尾峠を通過して朝鮮出兵の際にも宿泊し勝栗を献上された吉例がある太養院に宿泊しました。その後、博多を経由し名島城に入りました。
飯塚市本町 19-15

ちどりやほんけ 千鳥屋本家
長崎街道沿いにあった千鳥屋に、秘蔵されていた黒田藩ゆかりの品々が初公開されます。
飯塚市本町4-21

さいこうじ 西光寺
黒田如水は福岡城築城の時、用材伐採のために山口・馬敷村に来て西光寺に度々滞在しました。如水自ら書き与えた「如水円清」の法号、徳川家より如水が拝領した火鉢などが今に至るまで伝えられています。
飯塚市馬敷283

うすいきょうどかん 碓井郷土館
黒田如水・長政を豊前国境まで出迎えたという郷土、臼井次郎右衛門家の資料、黒田如水や黒田二十四騎の武將井上周防の書状などが展示してあります。織田廣喜美術館に併設 嘉麻市上臼井767

ぜんしょうじ 善照寺
善照寺の山門として益富城の大手門を移築しましたが現在は新しい山門に替わり寺の一角に文化財として保存されています。
嘉麻市上西郷590

またべえまんじゅう 又兵衛饅頭
黒田二十四騎の一人で益富城の城主となった「後藤又兵衛」からつけられたお饅頭です。大屋菓子店 嘉麻市中益422-12

ながさきかいどうひやみずとうげ 長崎街道冷水峠
黒田如水の案で藩主「長政」が冷水峠越えの長崎街道を開通しました。当時の石畳みがそのまま残っており首なし地蔵の民話があります。頂上には穂波郡と御笠郡の郡境石が建てられています。

そうけんじ 宗賢寺
黒田二十四騎の一人「母里太兵衛」に協力し内野宿建設・冷水峠開削を行った「内野太郎左衛門」の墓があります。
飯塚市内野3084

えいせんじ 永泉寺
永泉寺は長谷山の麓にあり、文安5年(1448年)長谷山城主高階入道盛綱によって開創されました。秋月氏や黒田如水・長政の筑前入国の際、豊前国境まで出迎え、その後仕えた臼井家代々の菩提寺です。
嘉麻市 上臼井1626

りんとうじ 麟翁寺
黒田節にも謳われた豪傑で黒田二十四騎の一人「母里太兵衛」の墓があります。益富城の搦手門が移築されています。
嘉麻市大隈町1023

ますとみじょう 益富城
筑前六端城の一つで後藤又兵衛、母里太兵衛が城主でした。1615年の一國一城令により廃城となりました。毎年10月下旬に一夜城まつりが開催され、益富城址に一夜城が蘇ります。
嘉麻市中益



制作：飯塚観光協会
協力：竹川克幸
(麻生西日本新聞TNC文化サークル事務局長、
日本経済大学講師、アクロス福岡文化誌編集委員会専門調査員)

秋月・朝倉市方面へ

福岡市方面へ

大宰府方面へ
筑紫野市山家・鳥栖・久留米方面へ

小石原・杷木・日田方面へ